

平成25年度公益社団法人静岡県茶業会議所事業報告  
(平成25年11月5日から平成26年3月31日)

## 1 事業の概要

当法人は、昨年11月に静岡県の公益認定を受け、新制度における公益社団法人として新たにスタートを切ったところである。

当法人は、静岡県における茶業界を代表し、その振興を図るため静岡茶振興方策を樹立推進するとともに、静岡県茶業に携わる関係団体相互間の連携協調を図り、併せて我が国茶産業の興隆と日本茶文化の継承発展に寄与することを本会の目的として掲げている。

静岡県と業界団体は、平成24年2月に新たな茶の流通拠点創設を目指す「静岡茶流通センターの設置に関する基本方針」に合意し、本会に事務局を置きプロジェクト会議、作業部会を開催し、具体的な構想(案)を検討した。

また、平成23年度より新たに、茶業振興の具体策として、榛村会頭が提唱する「茶業振興5路線」を定め、国民運動的に事業展開するため積極的に活動した。

平成25年度は、「茶業振興5路線」である**第一「和産・和消、和食路線」**としては、榛村会頭が提唱する「緑茶人間」という言葉を全国に広めるため、お茶のある生活、風景、人を広く知らしていく写真コンテストを「緑茶人間」「静岡県と静岡茶」の2部門で実施し、全国から多くの応募が寄せられ、世界お茶まつり会場において展示した。

**第二「文化・美学、癒やし路線」**として、TPOに合わせた静岡茶のPRとして「新茶郵便」の推進や全国でのイベント等の呈茶による静岡茶の美味しさPR等の活動を行った。

**第三「機能・効能、長寿路線」**として、平成25年11月1日に発刊した「新版 茶の機能」を全国茶業関係者の愛読書として総合学習運動を進め、この本をテキストとした活用フォーラムを開催したほか、「新版 茶の機能」を要約した冊子を作成した。

**第四「食育・撫育、徳育路線」**として、近年の生活様式の多様化等により、急須で飲む喫茶習慣に代表される食文化は急速に失われつつあり、急須で入れる楽しさやお茶の歴史・文化を学習する「出前事業」を引き続き、静岡県内小学校を中心に実施した。

**第五「エコ・倫理(エシカル)、愛郷路線」**として、クリーンかつ安心して安全な静岡茶を提供するため、茶の生産と製造に関わる者の食品衛生の意識改革と徹底した衛生管理を導入・定着を目的に「静岡茶衛生管理者」の普及に努めるとともに、県外の消費者やメディア関係者を対象に「静岡茶」良さを体感するツアーを実施した。

## 2 公益目的事業

### (1) 明日のしずおか茶育成事業

#### ア しずおか茶安心づくり事業

##### (ア) 茶の生産・製造工程管理の推進

静岡茶の信頼と信用を一層強固なものとし、消費者からの支持を獲得するべく、茶生産者並びに茶商工業者を対象にT-GAP並びにT-GMPの普及推進を図った。

T-GAPの対外的な評価を高めていくために、JGAPとの同等性認証をとる準備を進めていたが、平成25年12月全国初となるJGAPとの同等性認証を得ることが出来た。T-GAP取得工場のJGAPへのスムーズな移行をめざし、茶業会議所が研修機関となる体制を整備した。

##### a T-GAP推進委員会

第2回 T-GAP 推進委員会

月日：平成25年12月27日（金）

会場：静岡県茶業会館

内容：T-GAPのJGAPとの同等性認証申請状況、T-GAPの推進体制、JGAP同等性認証  
チェックリストの現場導入について

第3回 T-GAP 推進委員会

月日：平成25年12月27日（金）

会場：静岡県茶業会館

内容：T-GAP+Jの推進方法について

第4回 T-GAP 推進委員会

月日：平成26年1月7日（火）

会場：静岡県茶業会館

内容：T-GAPのJGAPとの同等性認証及び今後の推進指導方法について等

##### b T-GAP承認委員会

第2回 T-GAP 承認委員会

月日：平成26年1月14日（火）

会場：静岡県茶業会館

内容：T-GAP+Jの推進方法について

第3回 T-GAP 承認委員会

月日：平成26年3月20日（木）

会場：静岡県茶業会館

内容：T-GAP承認申請のあった工場（新規：3級19工場、更新：1級1工場・3級53工場）の承認を行った。

※3/31現在の承認工場数：255工場

(1級：6工場、2級：1工場、3級：248工場)

**c 承認された荒茶工場に承認書を発行**

第10期：19工場（3級19工場）、更新：54工場（1級1工場、3級53工場）

**d T-GAP 承認された荒茶工場や T-GAP 制度を PR するためホームページにて広報**

T-GAP 制度の概要、チェックシート、承認工場一覧をHPで公開した。

**e JGAP との同等性認証取得の推進**

T-GAP が対外的に認められる認証に近づけるために JGAP との同等性認証を取得した。

認証取得経過：平成25年11月1日 申請

平成25年12月6日 日本 JGAP 協会による現地確認

平成25年12月25日 同等性認証取得

**(イ) 静岡茶衛生管理者の普及**

茶製造者等を対象に、法規や茶製造に関する衛生管理などのカリキュラムによる養成講習会を開催し、受講者を対象に「静岡茶衛生管理者」の資格を与える認定試験を行い、新たに43名の静岡茶衛生管理者が誕生した。

**a 静岡茶衛生管理者養成講座**

月日：1日目：平成26年1月8日（火）、2日目：平成26年1月22日（水）

3日目：平成26年2月5日（水）、4日目：平成26年2月19日（水）

会場：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」（講座1～3日）

静岡県農業会館（講座4日目、試験）

内容：1日目：法規関係

2日目：微生物に関する基礎知識

お茶に関する衛生管理

3日目：お茶に関する衛生管理

4日目：まとめ・復習、認定試験

**b 認定委員会の開催**

養成講座のカリキュラム、認定試験の検討、試験結果に基づき合格者検討等を行った。

(a) 第2回認定委員会

月日：平成26年1月24日（金）

内容：認定試験問題（案）の検討

出席者：委員、他9名

(b) 第3回認定委員会

月日：平成26年3月4日（火）

内容：試験合格者の検討

出席者：委員、他11名

## c サポート体制の整備

### (a) 静岡茶衛生管理者サポート研修

月日：平成26年3月12日（木）

会場：静岡市民文化会館3F大会議室

内容：食品衛生にかかる基準と表示について

- ・食品衛生法及び健康増進法による表示について

- ・食品衛生法の概要及び管理運営基準について

「食品の表示について ～JAS法、食品表示法、景品表示法～」

「顧客管理で問われる衛生管理」

参加者：第1期更新者及び第4期修了者 66名

### (b) メールマガジンの配信

メールマガジン配信希望者（81件）に、6回のメールマガジンを配信し、研修会の情報等の提供をした。

## d 1、4期生の登録更新

平成26年3月末を以って、有効期限の切れる第1、4期生に対し、更新手続きを行い、新しい登録証を交付した。

### (ウ) 衛生管理広報資料の作成・配布

#### a ロゴマークの作成

一般の方にわかりやすく伝える事の出来るロゴマークを作成し、有資格者へ利用の案内を行った。



#### b 認定証及び茶衛生管理体系の英訳版の作成

輸出時、相手先に茶製造の安全・安心への取組について説明等できるように T-GAP 承認書、衛生管理者認定書の英訳版を作成した。

## イ しずおか茶ファン創出事業

### (ア) 消費者等への出前講座の開催

県内小学校中高学年を対象に出前講座を実施した。

No.	実施日	小学校名	学年	児童数	座学希望講座	体験希望内容
1	11月7日	磐田市立富士見小学校	3	99	お茶の種類	美味しいいれ方
2	11月13日	清水町立南小学校	4	140	お茶の種類	お茶あてクイズ
3	11月14日	富士市立神戸小学校	3	31		美味しいいれ方
4	11月14日	静岡市立北沼上小学校	3	5	お茶の種類	美味しいいれ方
5	11月18日	菊川市立小笠北小学校	3	58		美味しいいれ方
6	11月20日	私立加藤学園暁秀初等学校	4	85	お茶の歴史、静岡の茶産地	美味しいいれ方
7	11月21日	富士市立鷹岡小学校	3	115	お茶の成分と効能、お茶の種類	お茶あてクイズ、試飲体験
8	11月26日	磐田市立磐田中部小学校	3	89	お茶の歴史	お茶試飲体験
9	12月2日	沼津市立香貫小学校	3	81	静岡の茶産地、お茶の製造方法	
10	12月3日	島田市立伊久美小学校	3～6	24	お茶の成分と効能	美味しいいれ方
11	12月5日	三島市立山田小学校	4	84	静岡の茶産地	試飲体験
12	12月10日	沼津市立門池小学校	3	118		美味しいいれ方
13	12月11日	静岡市新通小学校	3	46	お茶の種類と製造方法	美味しいいれ方
14	12月12日	静岡市立番町小学校	5	72	お茶の歴史、お茶の成分と効能、お茶の製造方法	
15	12月17日	静岡市立有度第一小学校	5	117	歴史、(種類)、製造方法	お茶あてクイズ
16	12月19日	富士市立岩松小学校	6	90	お茶の歴史、お茶の成分と効能	美味しいいれ方
17	1月14日	伊豆の国市立葎山南小学校	4	61	お茶の成分と効能	美味しいいれ方
18	1月17日	熱海市立第二小学校	4	43	静岡の茶産地(お茶の製造方法)	試飲体験
19	1月21日	静岡市立安倍口小学校	3, 4	77		
20	1月21日	森町立三倉小学校	3, 4	4	お茶の歴史、種類	美味しいいれ方
21	1月27日	静岡市立葵小学校	4	81	静岡の茶産地お茶の成分と効能	美味しいいれ方
22	1月28日	沼津市立門池小学校	4	120		美味しいいれ方
23	2月4日	磐田市立岩田小学校	5	18	お茶の種類、お茶の成分と効能	美味しいいれ方
24	2月5日	沼津市立香貫小学校	5	89	お茶の産地、お茶の成分と効能	
25	2月12日	熱海市立伊豆山小学校	5	16	お茶の成分と効能	美味しいいれ方
26	2月17日	静岡市立蒲原東小学校	3	48	お茶の種類	お茶あてクイズ
27	2月18日	沼津市立西浦小学校	5	12	お茶の種類 かお茶の成分と効能	美味しいいれ方
		計		1,823		

### **(イ) T P Oに合わせた静岡茶のP R**

市町、各団体等と連携して、季節や場所・時間にあった静岡茶のキャンペーンの実施、新東名高速等のS AやP Aを始め、富士山が世界文化遺産に登録された機運等を活用して県内外の利用者へ静岡茶のP Rを行った。

イベント会場等において呈茶等による静岡茶のP Rを行った。また、来場者に配布する一煎茶パックを作成し、配布した。

#### **a 東京交通会館**

月日：平成26年2月3日（月）

内容：栄西禅師が「喫茶養生記」を献上して800周年の区切りに合わせ、静岡県内で栄西像（碑）のある市町に依頼し、静岡茶の試飲と販売を行うとともに、栄西禅師の功績をパネル展示し、P Rをおこなった。

#### **b 海老名SA**

月日：平成26年3月1日（土）～2日（日）、8日（土）～9日（日）

内容：県外の消費者へ静岡茶の美味しさや魅力を紹介

### **(ウ) パンフレットの発行**

静岡茶を紹介する「お茶のしずおか」（10,000部）、「わくわくお茶のたんけん隊」（10,000部）を発行した。

### **(エ) 「和産和消」の普及推進**

食事に欠かせないお茶を「茶の都しずおか」から発信するために、「おいしいお茶の飲める店」という定義を検討し認証する体制を整えていく準備をすすめた。

#### **a 「おいしいお茶の飲める店」の認証の推進**

第1回 月日：平成25年12月9日（月）

会場：丸山製茶(株)

内容：掛川茶マイスター制度の概要確認を行った。

第2回 月日：平成25年12月17日（火）

会場：茶業会館

内容：コーディネーターの松本氏と今後の進め方の素案を作成した。

#### **b 農芸品フェア**

農芸品フェアに出展し、県内の農芸品とともに茶のP Rを行った。

月日：平成26年2月22日（土）～23日（日）

会場：アクトシティ浜松 展示イベントホール

## **(オ) メディア等を活用した静岡茶のPR**

### **a 「静岡新茶郵便」PR事業**

#### **(a) ラジオ番組出演**

新茶シーズン前にFMラジオ（K-MIX）に出演し、「静岡新茶郵便」PRした。

月日：平成26年3月26日（水）

番組：「おひるま協同組合」

#### **b 「緑茶人間写真コンテスト」の実施**

お茶のある生活、風景、人を広く知らしていく写真コンテストを「緑茶人間」「静岡県と静岡茶」の2部門で募集し、応募点数130点あり、「世界お茶まつり2013秋の祭典」会場にて応募作品を掲示した。

また、入賞作品の表彰を平成25年11月10日（日）同会場（グランシップ）において実施した。

#### **c メディアツアーの実施**

「世界お茶まつり2013秋の祭典」の開催に合わせ、外国人記者を対象とした静岡茶の魅力を知ってもらうツアーを実施した。

世界農業遺産である茶草場等を海外メディアに取材してもらう事により、静岡茶を広報してもらった。

月日：平成25年11月7日（木）

会場：掛川市東山、グリーンピア牧之原、世界お茶まつり会場、静岡市茶町

参加者：12名（中国、台湾、スイス、オランダ）

## **ウ しずおか茶販路開拓事業**

### **(ア) 茶の効能等のPR**

日本を、日本人を元気にするため、茶学術研究会と協働で、茶の効能を広報し、嗜好飲料としてだけでなく、生態調節機能を有する保健飲料としてPRし、静岡茶の更なる消費の拡大と理解に努めた。また、茶の効能研究の成果を成分別に纏めた茶の機能効能情報冊子を活用し、幅広い層への広報を行った。

#### **a シンポジウム及び講演会**

##### **(a) 茶学術研究会公開シンポジウム「茶の機能 ヒト試験から分かった新たな役割」**

月日：平成25年11月9日（土）

会場：静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ 中ホール」

参加人数：200名

講演内容：「緑茶カテキンを用いた大腸腺腫の再発予防」

岐阜大学大学院医学系研究科消化器病態学 清水雅仁  
「肥満に対するお茶機能－脂質代謝の視点から－」  
花王株式会社研究開発部門 時光一郎 佐久間正  
「緑茶飲用と糖尿病予防」  
愛媛大学大学院医学系研究科統合医科学講座 特任講師 丸山広達  
「食生活（緑茶消費）とがんとの関係を統計的に考える！！」  
静岡県立大学茶学総合講座 特任教授 中村順行

#### (b) 茶学術研究会講演会の開催

月日：平成26年3月14日（金）

会場：静岡市 ホテルアソシア静岡

参加人数：60名

##### ・ポスター発表

「緑茶抹の摂取により振戦が軽快したパーキンソン症候群の1例」

静岡県立大学薬学部 原田翔平

「香煎茶の Maus における糖吸収抑制作用」 沼津工業高等専門学校 芳野恭士

「耕作放棄茶園の有効利用技術」 清水技術士事務所 山下 雄

「亜臨界水抽出による緑茶の有効成分について」 静岡大学 宮下知也

「玉露の抗ストレス作用に関する検討」 静岡県立大学薬学部 原文音

「緑茶カテキンの抗老化作用：寿命延長及び脳機能の低下抑制」

静岡県立大学薬学部 中川愛美

「チャ (*Camellia sinensis* L.) の *STOPI* 相同遺伝子の単離と機能解析」

静岡大学大学院 松田知子

「硫黄栄養条件がチャ培養細胞の硫黄及び窒素代謝に及ぼす影響」

静岡大学農学部 田中靖乃

「テアフラビンの抗酸化性と酸化安定性の解析」 静岡県立大学大学院 松浦加奈子

「異なる電気ポットで沸かしたお湯による茶の情動効果への影響」

静岡県立大学食品栄養科学部 陽東 藍

##### ・会員講演

「茶の新規有効利用に関する研究Ⅰ－根の抽出液が老化ラットの記憶に及ぼす効果」

静岡県立大学環境科学研究所 斎藤貴江子

「茶の新規有効利用に関する研究Ⅱ－花のハチミツ採取の試み－」

富士常葉大学社会環境学部 長橋里恵子

「茶及びその成分によるうがいのインフルエンザ予防効果：メタアナリシスによるエビデンスの確立」 静岡県立大学大学院 井出和希

「抹茶の価格と機能性の関係について－糖質吸収抑制作用を指標として－」

武庫川女子大学 中村衣里

「緑茶普及における呈茶について」 ATRL 代表 對比地信夫



「静岡県における荒茶製造業者と生葉生産者の連携」 成茶加納（株） 加納昌彦  
「茶ポリフェノールがもつ脂肪蓄積の抑制効果 -モデル生物ショウジョウバエによる検証-」 静岡県立大学食品栄養科学部 萱嶋 泰成

・特別講演

「日本茶需要拡大のための品種戦略」

独立行政法人農研機構 野菜茶業研究所 根角 厚司

「質量分析を用いた網羅的成分析の食品加工への応用」

神奈川工科大学応用バイオ科学部准教授 飯島陽子

## **b 茶の機能効能情報冊子**

保健飲料としての茶をPRし、消費拡大を図るため茶の機能を紹介した小冊子「今、見直されるすばらしい緑茶の健康増進・病気予防効果」を50,000部発行し、茶業関係者に配布するとともに、各種イベントなどに活用した。

## **c ホームページのリニューアル事業**

法人名称が変わることを機会と捉え、学習素材として、茶の機能等をより見やすく親しみやすいホームページへと変えるために、リニューアルを行った。

### **(イ) 栄西顕彰による茶の機能のPR**

喫茶養生記が記されて800年となることから、これまで日本人の根底に流れてきたお茶との関わりを栄西の功績等のとりまとめを岩間眞知子先生に依頼し冊子を製作し、一般消費者に訴えた。

### **(ウ) 異業種とのコラボレーションによる静岡茶の販路拡大**

異業種業界と協働で国内外等のイベント等に出展し、静岡茶のPRを通して、新しい静岡茶の販路とファン発掘を行った。

## **a 中小企業テクノフェア**

県内中小企業と東京の企業がマッチングを行う場で、商談を和ませるアイテムとして呈茶を実施するとともに、来場者へ静岡茶のPRを行った。

月日：平成26年2月27日（木）～28日（金）

場所：東京都大田区産業プラザ

## **b 浜名湖花博での展示**

お茶をテーマした展示ブースの出展に際し、お茶を使ったテーブルコーディネート製作を委託した。

## **(エ) 消費地茶商等との連携による静岡茶販路の強化**

消費地茶商等と連携し、静岡茶の販売強化のためのPRを行った。そのために、静岡茶消費拡大のためのグッズを作成、配布した。

また、グローバルな視点に立った販売戦略とマーケティング、静岡茶の安全性、保健機能、歴史・文化等々について、勉強会を開催する。

### **a 一煎茶パックの作成と配布**

静岡茶の一煎パックを配布し、他県において静岡茶のPRを行った。

#### **(a) 明治座「秋のお茶まつり」**

月日：平成25年11月7日（木）

場所：明治座（東京都）

内容：東京都茶協同組合と連携し、静岡茶の消費者への周知のため、一煎茶パックを配布してPR

### **b 消費拡大販促グッズの作成**

富士山の世界遺産登録にあわせ、「茶飲み富士」グッズによる静岡茶のPRを行うためメモ帳、ハンカチ等グッズを作成した。

## **(オ) 女性経営者等の会の推進**

ホームページのリニューアルに向けて、現在のホームページへの意見を集約した。

## **(カ) 茶流通の近代化、効率化への取組**

新たな茶流通センターの設置に向け、プロジェクト・作業部会による課題の調査・検討調整を実施した。

### **a 静岡茶流通改革委員会**

第1回 月日：平成25年12月4日

場所：茶業会館

内容：三役承認と経過報告を行った。

### **b 静岡茶流通改革プロジェクト**

第3回 月日：平成25年11月18日

場所：茶業会館

内容：課題の検討について協議し販売方法を入札とした。

第4回 月日：平成26年2月7日

場所：茶業会館

内容：施設概要について検討した。

第5回 月日：平成26年3月5日

場所：茶業会館

内容：二市場取引形態について検討した。

第6回 月日：平成26年3月28日

場所：茶業会館

内容：目標額の設定について

### c 作業部会

第4回 (経営部会)月日：平成25年11月11日 (月)

場所：茶業会館

内容：取扱金額別試算表を作成した。

第4回 (施設と機能部会)月日：平成25年11月12日

場所：(株)静岡茶市場

内容：組織体制について検討した。

第5回 月日：平成25年12月19日

場所：茶業会館

内容：茶流通改革構想(案)の作業について検討した。

第6回 月日：平成26年1月21日

場所：茶業会館

内容：市場機能について検討した。

## (2) 茶業振興事業

### ア 広報・情報収集、発信事業

本会が実施している事業の告知のため、広報誌を40,000部発行した。

### イ 茶業振興対策事業

茶業功績者表彰、県内各地で開催される各種茶業大会、品評会等への表彰状・副賞の交付を行った。

#### (ア) 各種茶業大会、品評会

	交付日	申請者 / 大会名称	交付先
1	11月6日	浜松市茶振興協議会 第6回浜松市茶品評会	普通煎茶の部 二等一席 丸芝製茶協同組合
2	11月14日	静岡県茶商工業協同組合 第49回静岡茶品評会	鶴印二等賞 中野製茶(株)
3	11月14日	静岡県茶商工業協同組合 第7回同一荒茶による仕上技術競技会	最高金賞 丸山製茶(株) 山本優介
4	1月31日	遠州中央農業協同組合 第21回JA遠州中央荒茶荷口品評会	普通煎茶の部 優秀賞 芦窪製茶協同組合
5	1月31日	遠州中央農業協同組合 第22回JA遠州中央茶園共進会	更新園の部 最優秀賞 太田昌孝

6	2月14日	遠州夢咲農業協同組合 第20回 JA 遠州夢咲茶園共進会	乗用型管理茶園成木園の部 金賞 増田剛巳
7	2月14日	遠州夢咲農業協同組合 第19回 JA 遠州夢咲荒茶品評会	深蒸煎茶 優秀 丸池製茶(株)
8	2月20日	静岡県経済農業協同組合連合会 第52回静岡県茶品評会	深蒸し煎茶の部 吹木茶農業協同組合 青年部 加藤桂一
9	3月4日	掛川市農協協同組合 平成25年度掛川市農協茶生産委員会製茶品評会	深蒸せん茶の部 最優秀賞 (農)丸大茶業組合
10	3月18日	静岡市農協協同組合 第20回 JA 静岡市静岡本山茶品評会	手摘み部門 優等 平野茶農業協同組合

## ウ 茶の効能研究及び「新版 茶の機能」発行事業

本会事業の基本である茶業振興5路線の一つである、機能・効能、長寿路線を進めるため、体系的にわかりやすくよく知るため、お茶の機能・効能を68項目にわたり論述した大冊を平成25年11月1日(金)に、「新版 茶の機能 ヒト試験から分かった新たな役割」として発刊した。

### (ア)「茶の機能」編集委員会

#### a 第3回

月日：平成26年1月20日(月)

会場：パルシェ会議室

- ・「新版 茶の機能」の解説書の作成について
- ・「新版 茶の機能」英語版の作成について

### (イ)「新版 茶の機能」のPR

平成25年11月 日に京都府で開催された全国お茶まつりにおいて、「新版 茶の機能 ヒト試験から分かった新たな役割」の発刊の報告とPRをおこなったほか、関係茶業団体へチラシを作成し送付した。

### (ウ)「新版 茶の機能」活用のためのフォーラム

茶業振興5路線のひとつである機能・効能の総合学習運動のテキストとして「新版茶の機能」を座右において、事典的に効能と疾病予防の関係を勉強するためのフォーラムを開催した。

月日：平成26年3月17日(月)

場所：株式会社静岡茶市場 2階大会議室

内容：第1部「新版茶の機能」の執筆者による講演

「がん予防」静岡県立大学 増田修一

「メタボ、生活習慣予防」静岡大学 茶山和敏

「風邪・インフルエンザ予防」静岡県立大学 山田 浩

「老化、認知症予防」静岡県立大学 海野けい子

## エ 情報誌・茶業図書の発行事業

### (ア) 月刊誌「茶」の発行

月刊誌「茶」は、茶の総合誌として生産から流通に至る茶業全体を視野に入れた編集に心掛けるとともに、茶業関連情報発信の源として内容の向上に努めた。

購読者数は、生産状況が厳しいため全体的には微減傾向であるが、読んでためになる、購読したくなる「茶」誌の編集を目指し、新規購読者の獲得に努めた。また、主な収入源である広告収入の増加に努めた。

### (イ) 茶業関連図書の発行と販売について

「新・目で見る茶の病虫害」を始めとした茶業関連図書の販売に努めた。

## オ 委託事業

「JGAP審査員補の養成及び生産者へのT-GAP導入指導」及び「T-GAP生産者指導・茶工場実施指導」を実施し、安心・安全な静岡茶に対する信頼性の確保を図りました。また、「技術者の育成及び品評会・茶園共進会の開催」を行うことにより静岡茶の適正な品質、価格を形成し、かつ、生産量を確保した。また、「安全・安心なしずおか茶の消費宣伝」を実施し、しずおか茶の消費拡大に努めた。

静岡茶の販売力強化を図るため、茶どころ静岡のPRに努め、本格的な緑茶ファンの獲得と茶専門店の活性化のための普及推進事業やリーフ茶の需要を喚起するための需要開拓を進めた。

### (ア) 生産対策委託事業（県経済連へ委託）

#### a 静岡茶安心づくり事業

##### (a) 静岡茶の生産工程管理導入指導及び消費者等へのT-GAPの認知度拡大

JA茶技術員（T-GAP評価員）の第三版に伴う研修会を実施した。また、茶生産者に食品安全、労働安全と福祉、環境への配慮、農場経営と販売管理の観点で、体系的に整理した静岡県茶生産指導制度をJAに対して指導した。

T-GAP取得指導推進を実施し、1級6工場、2級1工場、3級248工場、合計255工場の承認がされた。

#### b 静岡茶計画的生産対策事業

##### (a) 共同工場の経営指導及び生産流通調査

- ・経営分析及び経営指導
- ・生育・生産・流通調査
- ・調査結果等を踏まえた茶生産者に対する計画的生産指導

- ・茶生産量の多い他県との情報収集・意見交換
- ・県内で生産される茶の特質を明らかにするとともに、多彩で消費者に好まれ安全・安心な茶生産に関する技術の向上及び、本県茶業の安定的発展を図ることを目的として、第52回静岡県茶品評会審査会及び仕上茶と発酵茶を対象とした平成25年度静岡県茶品評会プレ大会を開催した。平成25年度静岡県茶品評会プレ大会は、二次評価会を消費地（東京都）で行い、新しい静岡茶の消費宣伝を実施した。また、事務局として、会の円滑な運営に努めた。
- ・良質茶生産指導結果として、各品評会にて農林水産大臣賞受賞を合計6点受賞し、積み重ねた技術を立証すると共に静岡茶の名声を高めることが出来た。  
第67回全国茶品評会にて「普通煎茶4kgの部」で1点、「深蒸し煎茶の部」で1点、合計2点。

(c) J Aグループによるしずおか茶消費宣伝

県、茶業会議所、J Aグループ、県茶商が連携し、「静岡茶消費回復緊急推進協議会」を組織し、大消費地に向けて、茶商、流通業者へ働きかけを行い、需要の喚起、販売促進を実施した。

静岡県産茶消費拡大を目的に、「静岡茶」のホームページを作成するための協議検討を実施し、ホームページを立ち上げた。

**(イ) 静岡茶消費拡大委託事業(県茶商へ委託)**

a 販路拡張事業

(a) 小学生への茶器・茶葉の提供及び小学生等への淹れ方教室の開催

- ・小学生への茶器・茶葉の提供

淹れ方教室に参加した小学生等に、1個ずつ急須を提供した。

- ・小学生等へのお茶の淹れ方教室

県内の小学生を主な対象として、お茶の淹れ方教室を各地で実施した。お茶のおいしい淹れ方やお茶の種類等を子どもたちに教えた。茶産地静岡県に住んでいる子どもたちに、お茶への興味や知識をより深めることを目的に努めた。

また、将来静岡茶の需要を支えていく世代でもある、中高生や大学生などを対象としたお茶の淹れ方教室も実施した。

(b) 静岡茶の普及啓発

- ・静岡茶普及キャンペーン実施

静岡茶の普及と静岡茶ブランド(県内各茶産地を含め)のPRしていくことを目的に、県内外で開催されたイベントに出展し普及キャンペーンを実施した。会場内では、静岡茶試飲や啓発チラシ付静岡茶一煎パックのサンプリングなどを行った。また、お茶アン

ケートを実施して、茶の需要動向調査も行った。

・世界お茶まつり2013共催 第13回静岡県お茶カルタ大会の実施

「第13回静岡県お茶カルタ選手権大会」は毎年好評をいただき、小学生を未来の緑茶ファンとして想定し、父兄をも巻き込んだ展開の中で、静岡茶の普及と啓発を重点として開催し、第13回目を迎えました。本年は第5回世界お茶まつりの会場「グランシップ」で開催することにより、一層にぎやかに開催することができた。

また、静岡朝日テレビの後援事業として、大会告知のタイアップ、訪問者の多いテレビ局のHP等による告知、テレビでの露出による、広報・認知の相乗効果を図るとともに、静岡県・静岡県教育委員会の後援協力により、県内各地の小学校への事業認識の拡大及び静岡茶普及の深化を進めた。

日 時：平成25年11月9日(土) 10:30～16:00

会 場：グランシップ 10F 1001会議室

参加者：事前募集の小学生3人1組 64チーム(小学生合計192人)

参加64チームをA・Bブロックに分け、トーナメント方式で優勝チームを決定した。成績は以下の通り。

優 勝 「ハッピークローバー」(静岡市/井宮北小学校)

準優勝 「AAA」(静岡市/賤機中小学校)

第3位 「ボーカロイド」(静岡市/伝馬町小学校)

第4位 「しょうぶっ子」(静岡市/井宮北小学校)

敗者復活優勝 「MMY★」(静岡市/安西小学校)

敗者復活準優勝 「仲良しガールズ」(静岡市/入江小学校)

・静岡駅看板掲出による静岡茶宣伝

年間を通して、静岡を訪れる方々と通過する車窓越しに、“お茶処静岡”の存在感を印象づけ、静岡茶のイメージアップを図るため、JR静岡駅新幹線下りホームに大型看板を掲出した。

・茶名刺による静岡茶PR

「茶の一煎パック」と「名刺」を一体化するツールを企画・制作し、名刺配布の機会をPR活動につなげた。

・ポスター作成による静岡茶PR

静岡市出身の女優酒井美紀氏を使った静岡茶ポスターを作成し、県内のみならず、県外各地の消費地茶商組合へ配布して、視覚に訴える「静岡茶」の訴求をはかった。

また、酒井美紀さんは静岡茶を広くPRするため、「お茶サポーター」として静岡茶市場の初取引や新茶郵便発送式に参加、その後本組合役員とともに静岡県庁を訪問してくれた。

・新東名SA電飾看板掲出による静岡茶PR

新たに開通した新東名高速道路を利用して、静岡県内を訪れる方々に、年間を通して「静岡茶」のPRをはかるため、新東名上下線の静岡SA内のLED電飾式観光マップに、看板（「山は富士 お茶は静岡 茶の都」と「美容と健康にお茶、ようこそ、お茶のふるさとへ。」）を掲出するとともに、県内各産地の場所を明記し、視覚に訴える「静岡茶」の訴求を図った。

(c) 静岡茶風評被害対策

静岡茶の風評被害対策を進めるため、県、農協中央会、経済連、茶業会議所、県茶商の五団体で「静岡茶消費回復緊急推進協議会」を組織し、「オール静岡」による信頼回復と消費拡大を図った。

(d) 各種イベント等による消費拡大宣伝事業

県内外で開催された各種消費者対象イベント等に協賛し、静岡茶の消費拡大のため、喫茶試飲サービスやフリーサンプル、茶に関するリーフレットの配布等により、消費者との直接対話を通して静岡茶、冷茶等の宣伝と購買意欲を喚起促進する啓発活動を推進した。

(e) 新聞等協賛広告宣伝事業

- ・静岡新聞 11 / 15 全国お茶まつり協賛広告
- ・朝日新聞 1 / 1 年始広告
- ・日本茶業新聞社 1 / 5 年始広告
- ・中小企業静岡1月号 年始広告
- ・雑誌茶1月号 年始広告

(f) 宣伝販促物等の配布及び各種関連資材等の斡旋事業

営業活動における販売促進と消費拡大・啓発を図るためオリジナル企画制作によるポスター、しおり等の宣伝販促商品を頒布すると共に、関係茶業団体、関連商社等が取扱う諸資材等を本組合員に低廉価格で斡旋頒布し、また各地域で開催されるイベント活動等に宣伝物を無償提供し、販促活動を支援した。

(g) 世界お茶まつり2013秋の祭典協賛イベントお茶講座「喫茶楽塾」実施

喫茶楽塾では、緑茶の持つ固定イメージを一新させ、新たなお茶の魅力・楽しさを伝え茶の普及拡大を図った。

開催日：平成25年11月7日(木)～11月10日(日)4日間

会場名：静岡県コンベンションアーツセンター グラシップ

講座数：5講座 受講者数：121名 講師/スタッフ：講師4名・スタッフ22名(延べ数)

使用茶：掛川茶・川根茶・天竜茶・本山茶・川根茶・清水茶・牧之原茶



(h) 地区事業奨励・関連団体等支援・協賛事業

各地区品評会に協賛支援

第56回藤枝仕上茶品評会

第54回川根茶品評会

第36回掛川茶品評会

第48回森の茶品評会

第11回金谷茶品評会

### 3 収益事業

#### (1) 茶業会館の運営管理

業界の拠点として、広く茶業者の利活用できるような明るい環境を整えるとともに、静岡県茶業会館の保全維持・管理ならびに円滑な運営を図った。

### 4 その他の事業

#### (1) 委員会等開催費

財務委員会・事業委員会・静岡茶放射能被害対策委員会及び事務連絡会等を開催し、諸振興策を検討し、団体間の連絡調整を図った。

##### ア 財務委員会

第2回

月日：平成25年11月6日（水）

会場：茶業会館4階会議室

内容：正副委員長の選出について

平成26年度茶業振興費について

公益社団法人への移行について（報告）

「仮称（株）静岡茶流通センター」構想について（報告）

第3回

月日：平成26年1月15日（水）

会場：茶業会館4階会議室

内容：平成25年社団法人茶業会議所理事会・総会附議事項について

社団法人静岡県茶業会議所 事業・決算（4/1～11/4）

公益社団法人静岡県茶業会議所 事業・予算（11/5～3/31）

第4回

月日：平成26年3月20日（木）

会場：静岡茶市場特別会議室

内容：平成26年度事業計画並びに予算について

静岡茶消費回復緊急推進協議会実績報告

静岡茶茶業振興基本計画（平成26～29年度）

第5回

月日：平成26年3月24日（月）

会場：茶業会館4階会議室

内容：平成26年度事業計画並びに予算について

## イ 事業委員会

### 第3回

月日：平成26年1月14日（火）

会場：茶業会館4階会議室

内容：平成25年社団法人茶業会議所理事会・総会附議事項について  
社団法人静岡県茶業会議所 事業・決算（4/1～11/4）  
公益社団法人静岡県茶業会議所 事業・予算（11/5～3/31）

### 第4回

月日：平成26年3月20日（木）

会場：静岡茶市場 役員室

内容：平成26年度事業計画並びに予算について  
静岡茶消費回復緊急推進協議会実績報告  
静岡茶業振興基本計画（平成26～29年度）

## （2）「静岡茶」安全・安心対策連絡会

### ア 平成25年度「静岡茶」安全・安心対策連絡会

#### （ア）静岡茶消費回復緊急推進協議会

##### a 静岡茶フェア in 東京

静岡茶の試飲、販売、プレゼント抽選会等

月日：平成26年2月3日（月）

会場：東京交通会館1F

##### B 静岡茶フェア in 海老名SA

静岡県に向かっていく観光客に対し、静岡茶を紹介した。

月日：平成26年3月1日（土）、2日（日）、8日（土）、9日（日）

会場：東名高速道路 下り線 海老名SA

## （2）会員団体助成事業

本県茶業を維持・発展していくため、消費者ニーズに対応した良質茶の生産、基盤整備・改植の推進、品種茶の生産拡大など特色ある茶の生産を積極的に進め、優秀な指導者の育成確保、安全・安心な茶づくりの推進をすすめ、静岡茶ブランドの確立を図った。

静岡茶などの緑茶は、単なる嗜好品ではなく、日本人の日常生活にとって最も身近で不

可欠な食品です。また、その優れた効能・機能性は、近年見直されゆとりあるライフスタイルや健康面で文化的な暮らしを実現する上で、静岡茶も大きな役割を担ってきた。

しかし、近年の生活様式の多様化等により、急須で飲む喫茶習慣に代表される食文化は急速に失われつつあり、当法人では、行政・商工・生産の団体と協力・連携しながら、静岡茶の普及のため情報の収集・発信を行い、健康的で文化的な食生活と食文化の維持、緑茶の効用や知識の普及、食育の推進等に関する施策を積極的に推進した。

## ア 生産対策助成事業(県経済連へ助成)

### (ア) 計画的生産指導

各産地7地区、県下指定の70圃場及び鹿児島県調査を実施し、一番茶生産対策資料を作成し、生産指導を実施した。

時期別生産対策資料を作成し、静岡県JAグループHP内農畜産別情報『茶』“あぐりんく静岡”に掲載し生産指導の徹底を図った。

各茶期別生産統計調査を実施し、茶況見通しと生産予測の判断材料とし、的確な情報提供などを通じて生産指導に役立て、生産統計(荒茶・生葉価格)を作成した。

#### 平成25年度茶生産統計調査結果

茶 期		荒茶生産量	生 葉 価 格	荒 茶 価 格
一番茶	本年	11,600 t	355円/kg	2,567円/kg
	前年	16,100 t	313円/kg	2,218円/kg
	対比	72%	113%	116%
二番茶	本年	11,000 t	70円/kg	783円/kg
	前年	8,290 t	68円/kg	750円/kg
	対比	133%	103%	104%
三番茶	本年	604 t	32円/kg	324円/kg
	前年	380 t	34円/kg	332円/kg
	対比	159%	94%	98%
四・秋番茶	本年	9,011 t	32円/kg	335円/kg
	前年	8,643 t	31円/kg	326円/kg
	対比	104%	103%	103%
合 計	本年	32,200 t	167円/kg	1,294円/kg
	前年	33,400 t	183円/kg	1,327円/kg
	対比	96%	103%	98%

※ 生葉・荒茶価格は推定値

農協荒茶共販委員会を開催、各茶期毎に生産販売対策資料を作成し、JAを通じ、生産者に計画生産指導を実施した。

改植による茶の優良品種への転換、台切や棚施設による高品質化を加速するため、国の

果樹・茶支援事業「茶改植等支援事業」の事業主体として事業を実施した。

改植面積	棚施設面積	台切面積	改植未収益面積	合計面積
8,549 m <sup>2</sup>	2,741 m <sup>2</sup>	124,298 m <sup>2</sup>	443,560 m <sup>2</sup>	579,148 m <sup>2</sup>

(イ) 製茶業者指導

- a 茶担当技術員の世代交代が進むなか、若手 J A 技術員 31 名の生産・製茶指導力強化や、将来の本県茶業を担う後継者の技術習得等を図るための年間研修会を企画し、年間 8 回の若手研修会及び全体研修会を開催した。
- b 協同製茶協議会、製茶業協議会を開催し、良質茶指導及び情勢把握をした。
- c 製茶工場における生葉の適正評価並びに品質向上と均一化を図るため、茶生葉格付担当者を対象に生葉格付に必要な知識の習得を目的とした、平成 25 年度茶生葉格付査定員研修会を開催し、82 名に対し認定証を交付した。
- d 静岡県協同製茶協議会代表者 88 名を対象に、良質茶生産指導及び代表者として、生産栽培・経営・優良事例等について研修会を開催した。
- e 静岡県製茶業協議会 36 名を対象に、良質茶生産指導及び経営者指導としての経営・最新研究成果等について研修会を開催した。
- f 茶工場運営に対して必要な乾燥設備作業主任者技能講習を開催し、48 名に対し終了証を発行した。
- g 茶工場運営に対して必要な小型ボイラー特別教育講習会を開催し、39 名に対し終了証を発行した。
- h 県内茶生産者の生産及び経営技術の向上と J A グループ荒茶共販事業の拡充を図り、もって本県茶業の振興に寄与することを目的として、静岡県農協茶業者集会（出席者 730 名）を開催し、各褒章授与、県茶業施策、共同管理・複合経営提案等を行った。
- i 茶業組織運営
 

各組織の事務局として、静岡県茶業の振興を図るとともに、J A グループの意識統一を図った。また、円滑な運営に努めた。

  - (a) 経済連茶業委員会 2 回開催
 

本会茶指導事業、行政等への政策要請、流通改革等について協議検討し、J A グループとしての指導事業振興と併せ、静岡県茶業の健全な振興と安定を図った。
  - (b) 経済連茶業委員会幹事会 5 回開催
 

茶業者集会や各種品評会、研修会等の指導事業、流通改革等について協議検討し、静岡県茶業の健全な振興と茶業農家の経済的地位の向上を通じ、系統事業の拡大を図った。
  - (c) 静岡県農協荒茶共販委員会 4 回開催
 

各茶期別生産販売姿勢、生産販売状況等について協議検討し、J A 荒茶共販事業の拡大を通じ県内茶業の振興と生産農家の経済向上を図った。
  - (d) 静岡県農協茶技術員会 6 回 技術員全体研修会

各種品評会、共進会、各種研修会、改植事業等指導事業中心に協議検討、また、技術員全体研修会を開催し、良質茶生産はもとより高度専門的な茶技術指導体制が求められ、これらの状況に対応し、茶技術員の有機的な連携のもとに、時流に即した指導展開を図った。

(e) 静岡県茶生産青年会 3回、茶審査技術競技会

事業計画、審査技術協議会等について協議検討した。また、茶審査技術競技会を開催、上位10名が全国大会に出席し、茶業の将来を担う茶業後継者の育成と会員相互の連絡強調を図り伝統ある本県茶業の健全なる発展を目指した。

(f) 静岡県協同製茶協議会 2回 協同製茶協議会代表者研修会

各茶期対策、生産状況、研修会等について協議検討した。また、代表者研修会を開催し、協同生産組織の確立を図り、茶業の情勢を的確に把握し、協同製茶工場の合理化並びに運営の近代化を図った。

(g) 静岡県製茶業協議会 3回 製茶業者全体研修会

茶期別生産販売状況、研修会等について協議検討した。また、製茶業者全体研修会を開催し、製茶業者相互の連絡強調のもとに、茶の生産、流通に関する知識向上、及び本県茶業の健全な振興と茶農家の経済的地位の向上発展を図った。

(h) 製茶工場茶業経営改善

行政、JAと連携し、高齢化問題、労働力削減、コスト削減等を図ることを目的に、茶園共同管理、複合経営等のモデル工場10工場について協議検討するとともに、茶業者集会等で指導を実施した。

(i) 生産・販売概況

・一番茶

県内生産量 : 11,600 t (前年比72%)

県内平均価格 : 2,567円 (前年比116%)

気温は、2月まで低温で推移、3月～4月上旬までは夏日を記録するなど平年を上回り、4月中旬以降は一転して低温が続き、特に4月12～13日は山間部を中心に厳しい冷え込みになった。

生産は、3月中旬～4月上旬までの気象により、過去最速の生育スピードで推移し、県下一斉の短期集中型の生育状況となっていたが、4月中旬以降の気温低下により生育は抑えられ、生産の大きな山場も無く、早場所は4月末、中場所は5月の連休にはほぼ終了し、山間部及び遅場所も5月下旬には大方終了となった。

流通は、新茶贈答需要の低迷から、生産初期は茶商の買い気は弱く、必要最小限の仕入れに留まった。その後、生産を終了する工場が増加し、今期の減収が現実視され始めた頃から、補充仕入れを急ぐ茶商が見られた。後半は相場が下げ止まり、底堅く推移した。

・二番茶

県内生産量 : 11,000 t (前年比133%)

県内平均価格：783円（前年比104%）

気温は、5月上旬は寒暖差が大きかったものの、5～6月を通じては平年並みに推移し、降水量は、5月中～下旬は平年より多く推移したが、その後まとまった降雨がなく、6月は平年を下回った。

生産は、早場所が5月27日、中場所が6月5日頃、遅場所は6月中旬に開始となりました。更新園の増加や低温による芽伸びの遅れ等により、生産当初は減産が見込まれたが、その後の気温上昇や降雨に伴い、生育は順調に推移し、反収は増加した。

流通は、生産当初は、一番茶合組用原料を求める茶商が1,000円台半ばからの仕入れを開始し、その後、700円台半ばからドリンク用原料を求める茶商の仕入れが主体となった。積極的な買い入れをしていたドリンク用原料仕入茶商は、6月下旬には概ね計画数量に達したことから、消極的な仕入れとなった。

・三番茶、ならし番茶

県内生産量：604t（前年比159%）

県内平均価格：324円（前年比98%）

一、二番茶の生産が早かったことから、生育は順調で、県下荒茶生産量は、前年に比べ増産となった。流通は、二番茶増産による下物在庫の過剰感から前年以上の需要は無かった。

・四・秋冬番茶

県内生産量：9,011t（前年比104%）

県内平均価格：335円（前年比103%）

流通は、全般的に茶商在庫は少なく、ドリンク原料を主体とし、前年並み～前年以上の需要での開始となった。重油価格が前年と比較し10円/㍓程度高めであったため、茶商に対し、価格への転嫁を要請した。減産予測から量確保の動きが強く、価格は安定した。

## イ 静岡茶消費拡大助成事業（県茶商へ助成）

### （ア）教育情報事業

組合の情報受発信機能の強化を目的に、インターネットのホームページの活用とともにメールによるお茶に関する問い合わせにも回答し、幅広い静岡茶ファン層の拡大を図った。

本組合オリジナル情報「県茶商通信」のほか、関係団体等の発行する情報、広報紙、啓発文書等を随時提供し、組合員の経営活動の参考資料として活用いただいた。

### （イ）後継者育成事業

静岡県茶商工業協同組合の後継者等で組織する県市両青年団は、新茶販促企画をはじめ、お茶のおいしい淹れ方教室、母の日お茶プレゼント、その他各種の事業活動を幅広く展開

しているのをこれを支援し、さらに充実した団活動と併せて団並びに団員の資質の向上を図った。

(a) 県茶商・県茶青創立 60 周年記念静岡茶普及事業

11 月 7 日(木)～10 日(日)の 4 日間、静岡県コンベンションビューロー グランシップ<sup>®</sup>において開催された『世界お茶まつり 2013』に出店し、県茶商・本団共催による「県茶商・県茶青創立 60 周年記念静岡茶普及事業」を実施した。

県茶青の 60 周年記念で製作した「静岡茶 17 茶産地 premium セレクション」のお茶の飲み比べをしてもらい、県内各産地の PR を積極的に実施した。

また、60 周年記念第 2 弾としてお茶を楽しみながら飲んでもらうことをコンセプトに製作した「日本茶茶器セット 茶気楽」も限定販売して、新しいお茶の楽しみ方を提案した。

(b) 各地区お茶の淹れ方教室実施

今年度は、小学生への茶器・茶葉の提供及び小学生等への淹れ方教室の開催事業(県茶商委託事業)として、県内各地の小・中学生、主婦や OL 等を対象に実施した。第 39 年次となるこの事業は、各地区青年団により実施され、年間を通し延べ 35 会場 1,655 が受講し、茶の消費拡大・啓発運動を展開した。

(ウ) 地区事業

静岡県茶商工業協同組合の地区組合が実施する各種消費者イベント等に協賛するとともに、静岡茶の消費拡大のため試飲サービス、サンプル・茶に関するリーフレットの配布などの PR 活動及び地区品評会、研修、視察、調査事業等を支援した。

## 5 理事会・総会

### (1) 理事会

#### ア 第 1 回理事会

平成 25 年 11 月 5 日より公益社団法人への移行にともない、社団法人の事業報告及び貸借対照表、損益計算書、財産目録の承認、公益社団法人の事業計画及び収支予算書の承認、役員を選任の総会附議事項と社員総会召集について開催し、原案のとおり承認された。

日 時：平成 26 年 1 月 16 日(木)

会 場：静岡県茶業会館

議 事：総会附議事項について

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律に基づく提案について(社員総会召集について)

その他：2015 年ミラノ国際博覧会について

静岡県立大学茶学総合講座の取り組み

#### イ 第 2 回理事会

平成 26 年度公益社団法人の事業計画及び予算、借入金限度額、取引金融機関、公益社

団法人静岡県茶業会議所諸規定、総会附議事項と社員総会召集について開催し、原案のとおり承認された。

日 時：平成26年3月25日（火）

会 場：静岡県茶業会館

議 事：平成26年度公益社団法人静岡県茶業会議所事業計画について

平成26年度公益社団法人静岡県茶業会議所予算について

借入金最高限度額について

取引金融機関について

公益社団法人静岡県茶業会議所諸規程について

総会附議事項について

議案1 平成26年度茶業会議所会費の賦課・徴収方法について

議案2 平成26年度役員報酬決定について

社員総会召集について

ア 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第58条第1項に基づく提案について

イ 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第58条第1項に基づく同意について

報告事項：平成26年度主要県予算について

県立大学「茶学総合講座」の報告について

## （2）社員総会

### ア 第1回

社団法人（平成25年4月1日から平成25年11月4日）の事業報告及び財務諸表等について、理事会において榛村代表理事より一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第58条第1項の規定に基づき、社員総会の決議事項について提案があり、社員（会員団体）である静岡県茶商工業協同組合及び静岡県経済農業協同組合連合会より同意書による承認を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第58条第1項により総会の決議があったものとみなされ、原案のとおり承認された。

日 時：平成26年1月16日（木）

会 場：静岡県茶業会館

議 事：第1号議案 平成25年度社団法人静岡県茶業会議所事業報告（4/1～11/4）の承認について

第2号議案 平成25年度社団法人静岡県茶業会議所貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）、財産目録の承認について

第3号議案 平成25年度公益社団法人静岡県茶業会議所事業計画（11/5～3/31）の承認について



第4号議案 平成25年度公益社団法人静岡県茶業会議所収支予算書（正味財産増減計算書）の承認について

第5号議案 役員改選について

附帯決議

## イ 第2回

平成26年度の本会の会費の賦課・徴収方法と役員報酬額決定について、理事会において榛村代表理事より一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第58条第1項の規定に基づき、社員総会の決議事項について提案があり、社員（会員団体）である静岡県茶商工業協同組合及び静岡県経済農業協同組合連合会より同意書による承認を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第58条第1項により総会の決議があったものとみなされ、原案のとおり承認された。

日 時：平成26年3月25日（火）

会 場：静岡県茶業会館

議案1 平成26年度茶業会議所会費の賦課・徴収方法について

議案2 平成26年度役員報酬決定について

附帯決議

## 6 庶務事項・行事

13. 11. 6 財務委員会開催  
7～10 世界お茶まつり 2013  
9 茶学術研究会公開シンポジウム「茶の機能 ヒト試験から分かった新たな役割」  
10 緑茶人間コンテスト表彰式  
11 静岡茶流通改革作業部会開催  
12 静岡茶流通改革作業部会開催  
14～15 全国お茶まつり書籍販売 編集部長、総務課長、他職員 1 名出席  
15～17 全国お茶まつり 会頭、参事出席  
18 静岡茶流通改革プロジェクト開催  
27～29 九州茶業者大会熊本大会参加 編集部長出席  
27～28 お米日本一コンテスト 参事出席  
〃 県品プレ審査会 専門監、他職員 1 名出席  
29 県品プレ審査会 専門監出席  
12. 2 茶取引関連機器説明会 専門監出席  
〃 県茶議連説明会 専務出席  
〃 損害賠償打合せ 参事出席  
4 茶流通改革委員会開催  
5 「茶の都しずおか」構想検討会 会頭、専務出席  
6 同等性認証現地調査 参事出席  
9 美味しいお茶が飲める店打合せ 参事出席  
11 第 2 回 JA 荒茶販売事業強化検討委員会 専務出席  
〃 農芸品フェア担当者打合せ 参事出席  
13 茶学術研究会役員会開催  
16 監査会開催  
〃 茶流通改革作業部会開催  
17 農芸品フェア実行委員会 参事出席  
19 T-GAP 推進協議会 参事出席  
〃 静岡茶流通改革作業部会開催  
24 県品プレ審査基準検討会 専門監出席  
27 T-GAP 推進協議会 参事出席  
14. 1. 7 T-GAP 推進協議会 参事出席  
8 静岡茶衛生管理者養成講座 参事出席  
14 第 2 回 T-GAP 承認委員会 参事出席

- 〃 事業委員会開催
- 1. 15 農芸品フェア出展社説明会 参事出席
- 〃 財務委員会開催
- 16 理事会開催
- 〃 社員総会開催
- 20 「新版茶の機能」編集委員会
- 21 静岡茶流通改革作業部会開催
- 22 静岡茶衛生管理者養成講座 参事出席
- 24 静岡茶衛生管理者認定委員会開催 専務、参事出席
- 2. 3 静岡茶フェア in 東京交通会館
- 5 静岡茶衛生管理者養成講座 参事出席
- 6 編集部取材（埼玉県入間市）
- 7 静岡茶流通改革プロジェクト開催
- 19 静岡茶衛生管理者養成講座 参事出席
- 22～23 ふじのくに農芸品フェア 参事、他職員1名出席
- 27～28 静岡県中小企業テクノフェア 参事出席
- 3. 1～2 海老名 SA 静岡茶フェア 参事出席
- 5 静岡茶流通改革プロジェクト開催
- 12 静岡茶衛生管理者サポート研修 参事出席
- 14 茶学術研究会講演会・総会
- 〃 茶流通改革事務局会議
- 17 「新版茶の機能」活用のためのフォーラム開催
- 20 財務委員会開催
- 〃 事業委員会開催
- 〃 T-GAP 承認委員会開催
- 25 理事会開催
- 〃 社員総会開催
- 28 茶流通改革プロジェクト開催

## 7 役職員等（平成26年3月31日現在）

（役員）

役職	氏名	所属
会頭	榛村純一	学識経験
副会頭	齋藤松太郎	県茶商（県茶商理事長）
〃	大石眞吾	県経済連（経営管理委員会会長）
専務理事	中田義廣	学識経験者
理事	天野 一	〃（県議会議員）
〃	住田恵朗	〃（静岡県茶手揉保存会）
〃	西原茂樹	〃（牧之原市長）
〃	増井良夫	〃（静岡茶市場）
〃	堀川知廣	〃（静岡産業大学）
〃	中川敏昭	県経済連（JA静岡市）
〃	山本幸夫	〃（JA大井川）
〃	山下太市	〃（JAハイナン）
〃	田中铁男	〃（JA掛川市）
〃	堀内和清	〃（JA遠州夢咲）
〃	原田 康	県茶商（ハラダ製茶株）
〃	渥美富夫	〃（株鈴和商店）
〃	松葉隆夫	〃（マツバ製茶株）
〃	朝比奈明夫	〃（株朝日園）
〃	成岡揚蔵	〃（協和製茶株）
監事	藤田文敏	県茶商（県茶商専務理事）
〃	赤堀雅博	県経済連（県経済連常務理事）
〃	青木隆知	学識経験者（公認会計士）
参 与	白井 満	県経済産業部茶業農産課長
	平野 久	県経済連茶業部長
	高瀬 英夫	県茶商総務部長
顧 問	柳澤伯夫	
	鈴木脩造	

(職員)

総務部

参事 鈴木英志 (静岡県より研修)  
専門監 佐塚 高 (県経済連より出向)  
総務課長 天野尊人  
総務主幹 長藤利華  
主事 大倉 巧 (静岡県へ出向)

編集部

編集部長 中小路和義  
主事 飛坐愛美

(事業委員会)

役職	氏名	所属
委員長	堀川知廣	学識経験者 (静岡産業大学)
副委員長	中川敏昭	県経済連 (J A静岡市)
〃	渥美富夫	県茶商 (株鈴和商店)
委員	勝亦光明	県経済連 (J A富士市)
〃	市川勝三	〃 (J A富士宮)
〃	堀内和清	〃 (J A遠州夢咲)
〃	深澤貞博	〃 (県協同製茶協議会)
〃	増田剛巳	〃 (県製茶業協議会)
〃	高森 功	県茶商 (株高森商店)
〃	渡辺栄一	〃 (株山大園)
〃	成岡揚蔵	〃 (協和製茶株)
〃	一言藤夫	〃 (株丸藤一言商店)
〃	丸山勝久	〃 (丸山製茶株)
〃	住田恵朗	学識経験者 (静岡県茶手揉保存会)
〃	中田義廣	〃

(財務委員会)

役職	氏名	所属
委員長	天野 一	学識経験者 (静岡県議会議員)
副委員長	田中铁男	県経済連 (J A掛川市)
〃	高柳虎夫	県茶商 (株高柳製茶)

委員	市川逸朗	県経済連	(J Aなんすん)
役職	氏名	所属	
委員	望月 潔	県経済連	(J Aしみず)
〃	山本幸夫	〃	(J A大井川)
〃	山下太市	〃	(J Aハイナン)
〃	赤堀雅博	〃	(県経済連)
〃	原田 康	県茶商	(ハラダ製茶(株))
〃	朝比奈明夫	〃	(株朝日園)
〃	松葉隆夫	〃	(マツバ製茶(株))
〃	和田治夫	〃	((有)和田長治商店)
〃	堀内 尚	〃	(丸堀製茶(株))
〃	増井良夫	学識経験者	(株静岡茶市場)
〃	中田義廣	〃	

(静岡県茶流通改革委員会)

役職	氏名	所属	
委員長	榛村純一	学識経験者	(静岡県茶業会議所)
副委員長	齋藤松太郎	茶業団体	(県茶商)
〃	大石眞吾	〃	(県経済農連)
委員	大谷徳生	県	(静岡県経済産業部)
〃	鈴木道也	生産代表	(J Aなんすん)
〃	紅林 茂	〃	(J Aハイナン)
〃	田中铁男	〃	(J A掛川市)
〃	高柳虎夫	茶商代表	(金谷茶商協会)
〃	長田辰美	〃	(森町茶商組合)
〃	長瀬 隆	〃	(静岡茶商工業協同組合)
〃	増井良夫	茶市場	(株静岡茶市場)
〃	中田義廣	茶業団体	(静岡県茶業会議所)
〃	堀川知廣	学識経験者	(静岡産業大学)
〃	天野 一	〃	(静岡県議会議員)

(茶流通改革委員会プロジェクト)

役職	氏名	所属	
委員長	中田義廣	茶業団体	(静岡県茶業会議所)
委員	白井 満	県	(静岡県茶業農産課)
〃	市川勝三	生産代表	(J A富士宮)

役 職	氏 名	所 属	
委 員	中川敏昭	〃	(J A静岡市)
〃	山本幸夫	生産代表	(J A大井川)
〃	堀内和清	〃	(J A遠州夢咲)
〃	遠山勝悦	〃	(J A掛川市)
〃	原田 康	茶商代表	(ハラダ製茶(株))
〃	渥美富夫	〃	(株鈴和商店)
〃	松葉隆夫	〃	(マツバ製茶(株))
〃	朝比奈明夫	〃	(株朝日園)
〃	成岡揚蔵	〃	(協和製茶(株))
委 員	増井良夫	茶市場	(株静岡茶市場)
〃	内田行俊	〃	(株静岡茶市場)
〃	内野 稔	学識経験者	(世界緑茶協会)
〃	藤田文敏	〃	(県茶商)
〃	赤堀雅博	〃	(県経済連)

(茶流通改革委員会作業部会)

・施設と機能

役 職	氏 名	所 属
委 員	大倉 巧	県茶業農産課
〃	真田泰伸	県経済連
〃	金指徳吉	J A遠州中央
〃	市川真太郎	(株市川園)
〃	有海 功	ハラダ製茶(株)
〃	川岸洋紀	(株静岡茶市場)

・経営

役 職	氏 名	所 属
委 員	岩崎敏之	県茶業農産課
〃	堀 要	県経済連
〃	石田 済	J A大井川
〃	岩崎正樹	(株岩崎功商店)
〃	堀内 尚	丸堀製茶(株)
〃	西郷 理	(株静岡茶市場)

(静岡茶放射能被害対策委員会)

役 職	氏 名	所 属
委員長	堀川知廣	学識経験者 (静岡産業大学)
副委員長	中川敏昭	生産関係 (J A静岡市)
〃	渥美富夫	流通関係 (県茶商副理事長)
委 員	望月 潔	生産関係 (J Aしみず)
〃	平野 久	〃 (県経済連)
〃	齋藤松太郎	流通関係 (県茶商理事長)
〃	和田治夫	〃 (市茶商副理事長)
〃	藤田文敏	〃 (県茶商)
〃	白井 満	行 政 (県茶業農産課)
〃	小林満明	〃 (静岡市農業振興課)
委 員	松尾喜義	研究機関 (野菜茶業研究所)
〃	松本昌直	〃 (茶業研究センター)
〃	奥野健二	専 門 家 (静岡大学理学部)
〃	森田明雄	〃 (静岡大学農学部)
〃	原 征彦	学識経験者 (しずおか産業創造機構)